



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2020
12.30
No.78

CONTENTS

未来志向型介護経営研究会開催
職員の持ち味を活かした
チームづくりを

2

●合格者の声

4

●新実践研修実施レポート

5

●今月の「介護ビジョン」

●今月の書籍紹介

6

●発見! ケアニュース

7

●イベント掲示板

●介護福祉経営士試験の
ご案内

●INFORMATION

8



未来志向型介護経営研究会 開催
職員の持ち味を
活かした
チームづくりを



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3553-2896 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 諄
〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号
S-GATE八丁堀9階



職員の持ち味を活かした チームづくりを

来る2025年に向けて大幅な介護人材確保の必要性が叫ばれる中、人材の採用だけでなく定着も重要な課題となる。日本介護福祉経営人材教育協会関東支部は職員が定着しやすい環境づくりのために必要な要素となる「職員育成」をテーマに、未来志向型介護経営研究会を開催。本特集ではその内容をレポートする。

確保した介護人材を いかに定着させるかが課題

未来志向型介護経営研究会はこれまで3回にわたり「人材」をテーマに開催され、第1回では「職員採用」、第2回では「職員定着」などについて学んできた。2020年12月9日に開催された第3回研究会では「職員育成」がテーマとして取り上げられた。講師は社会福祉法人での勤務を経て、現在は株式会社リクルートキャリア内の「HELPMAN JAPAN」プロジェクトに携わる古戸智恵氏。第2回につづき、完全オンラインでの開催となり、全国各地から参加者が集まった。

まずはじめに、古戸氏は厚生労働省が掲げる「2025年までに介護人材を55万人確保する」という目標について、「逆算すると年間約6万人の介護人材の確保が必要になる」と述べ、人材確保施策の重要性を強調した。

加えて、介護業界の離職率が他業界とくらべ若干高い傾向にあり、入職後3年以内に約6割の人材が離職している点や、35歳以上の平均勤続年数が他業界に比べて下回っている点等についても触れ、人材の採用だけではなく定着に対する施策も大きな課題であると述べた。

また、人材の定着に関わる要素として、介護業界内で業務の中核となる中堅職員層やリーダー層へのフォロー体制が未整備である点。離職に繋がる原因として、「職場の人間関係の問題」がある点などをデータを引用しながら紹介。これらの課題への対策ポイントとして中堅職員・リーダーの育成と、チームづくりの2つを挙げた。

次世代を担う 中堅職員・リーダー層の育成に重点を

古戸氏によれば、近年では人材確保の観点から新しく

入職した職員への研修制度や、ピアコーチング(先輩職員など近い立場の職員によるコーチング)などの仕組みを取り入れる事業所が増え、手厚くフォローが行われている一方、中堅職員に対してはフォロー体制が不十分なケースがまだまだ多いという。

結果として、自分に求められている役割に対する理解が不足し、チームづくりやリーダー役を任せたいといった管理者側の意向が伝わりにくい状況が生まれているのが現状であるという。

古戸氏はこのような中堅職員に対しては管理者側からの期待や評価をわかりやすく伝え、業務に対する視座を上げていくことが重要だとし、同時にこうした取り組みは離職防止にも役立つと述べた。

続いて、リーダー層の育成における課題については、人材不足によりスキルや理解が不十分なままリーダーに抜擢されるケースが増えている点について言及。自分がどうすればよいのかわかっていないリーダー層へのフォローの必要性が高まっていると指摘した。

こうした課題に対しては、面談や研修などを通じて「リーダーとしての役割確認」と、「自己を振り返り」「目指すべきリーダー像を創造」していくプロセスが必要になってくると述べ、面談時のノウハウなど具体的な事例などを交えて解説を行った。

働き続けたいと感じられる 環境づくりをめざして

次に古戸氏は離職防止のキーワードとして「良い人間関係の維持」を挙げ、そのためにはチームづくりが重要になると語った。

良いチームを作る際に必要な条件として、「風通しが良

い」「信頼関係がある」「目的共有ができて」「協力意識がある」の4つを挙げ、これらがバランスよくそろっていることが重要であるとし、チーム別の介護技術の対抗イベントを実施しているケースなど具体事例を交えて解説を行った。

さらに、独自調査の結果を引用し、離職率の低い施設の管理者の特徴として次の3つの要件を提示した。

- 組織の理念を反映したうえで現場スタッフが理解し具体的な行動に移せるような「方針をつくっている」こと
- 現場職員とのコミュニケーションのために「現場に足を運んでいる」こと
- 「キーパーソンを育成している」こと

ここでいうキーパーソンとは管理者やリーダーの決定した方針を現場の職員に職員目線で周知できる存在であり、古戸氏はこのキーパーソンの育成の重要性を特に強調した。

そして、管理者がこれらの行動を心がけつつ、現場スタッフの持ち味などをしっかりと把握しておくことで、チームワークの向上につながると述べた。

その後のワークでは身の回りのスタッフの持ち味を考えることをテーマに「キーパーソンになり得るスタッフ」と「自分と関係性が築けていないスタッフ」として思いうかぶスタッフについてシートに記入した。入職の動機、普段の会話内容、日頃の働きぶり等のさまざまな視点の項目を書き出してみることで、スタッフの持ち味についての分析方法を学ぶとともに、参加者自身とスタッフとの関係性について考察する機会となった。

コロナ禍における採用活動のトレンドを学ぶ

また、今回の研究会ではメインテーマである「職員育成」に加え、特別テーマとして「コロナ禍における採用施策」についても講義が行われた。

古戸氏によればコロナ禍の影響によりオンラインを活用した採用活動が活発化した結果、遠方にいる求職者や介護に興味がなかった採用希望者とも手軽にコンタクトが取れるため、採用活動に好影響が出ているケースが増えてきているという。

しかし、一方で、どうしてもオンライン上だけでは人間性

を把握しきれなかったり、求職者側も気軽に内定を辞退できる状況なども生まれてきており、そうした状況に独自対応を始めている企業も増えてきているという。

研究会では採用面接後のフォローのためのオンラインミーティングを実施している企業や、SNSを活用して面接後もコミュニケーションを取っている企業などの事例が紹介された。

古戸氏はこうした対応によって「就業レディネス(働くことへの心がまえができた状態)」が高められるとし、「コロナ禍においても介護分野の有効求人倍率は高い水準にある。求職者の不安などによりそい、納得した状態で迎え入れることで入職後の定着率も高まる」と語った。

また、既存の職員へのコロナ禍における定着支援として、子育て世代の職員に対して、休校中の子供が過ごすことのできる学童保育の運営を開始し、勤務環境の整備を行った事例などを紹介。従業員満足度を高めることが定着につながると述べた。

加えて、コロナ禍にあっては、離職が多い法人と職員の定着を維持できている法人に2極化されている傾向があると、定着を維持している法人は従業員側に自法人の勤務環境やスタッフ間のコミュニケーション環境が他法人と比べて良いという認識があると述べ、「従業員満足度の維持」と「日頃のコミュニケーション」が重要なポイントであると語った。

未来志向型介護経営研究会は今後も介護の未来について語り合い、学び合う機会を提供していく。

介護福祉経営士の皆さんにもこうした学びの場に参加していただき、より良い介護の未来について共に考えていっていただきたい。

参加者の声

■介護老人福祉施設 スタッフ

オンラインでの参加でしたが、満足のできる内容でした。特に事例を交えた解説が大変わかりやすかったです。

HELPMAN JAPAN へのお問い合わせ先

<http://helpmanjapan.com/inquiry>





学び続ける姿勢を忘れずに

松橋 美奈子 ●まつはし・みなこ 日本福祉大学通信教育学部 4年
介護福祉経営士2級／介護福祉士

私はグループホームでケアスタッフとして働きながら、社会福祉士になるために日本福祉大学で学んでいます。

介護福祉士資格は取得していましたが、現場での経験を積みながら、介護・福祉についてより深く知識・教養を身につけたいという思いがあり、大学で学ぶ道を選びました。その背景には、私が介護の仕事を始めた頃の体験があります。

私が介護の現場に入ったのは、ヘルパー2級資格を取得してすぐのことでした。ケアの経験が全くなかった私にとって、認知症の方のお世話をすることは未知の領域でした。しかし、上司や先輩に教えてもらおうと質問をしても、明確な返事はなく、「自分で考えて」と言われるだけでした。

自分で努力して知識を身につけ、経験のなさを補うしかないと考え、認知症介護基礎研修など、手の届く範囲で学べるものに片端から挑戦し、本を読み、勉強しました。しかし、それでも学び足りないという感覚がありました。

その後、さまざまな事業形態の現場での経験や、介護福祉士資格のための勉強などを通して、少しずつ自分の中で自信を持ってケアができるようになったように思います。

現在では大学の先生方や学友達との学び、新たな人達との出会いやコミュニケーションを通して、視野が大きく広がりました。そして、その体験が仕事や生活の場でとても良い影響となり、今後、介護・福祉に関わっていくための重要な経験になっていると思います。

私が介護福祉経営士について知ったのは、大学のゼミでICTを活用している施設の見学に行った際に目にしたポスターがきっかけでした。

来年2月の社会福祉士の試験に挑戦するにあたり、事前にさまざまな勉強をし、資格取得を考えていた私にとって最適と感じたため、目標の1つに決めました。受験を予定していた他の資格試験や研修は、コロナの影響で中止や延期となってしまいましたが、介護福祉経営士はWebで試験対策講座が受講でき、試験もCBT方式で受験できるので、唯一取得できた資格となりました。学習の範囲も社会福祉士と重なる点が多く、このタイミングで介護福祉経営士資格に挑戦できたことは良いステップアップの機会であったと感じています。

介護の現場では介護福祉士資格を取得できれば一人前のように思われていますが、私はそこで止ってしまっただけでいいと考えています。現場での「経験」と同時に「学び」が大切です。介護に関する法律もケアの手法も日々変わっていきます。常に学び続ける姿勢が重要と考えます。

介護の現場は楽しいものです。「ありがとう」の言葉が絶えません。人と関わることの尊さや、人間同士の結びつきなど、現場で学ぶこと、利用者さんから教えてもらうことは数多くあります。「介護という仕事の楽しさ」を多くの人達に知ってもらいたいと思いますが、残念ながら介護の仕事に対する社会的地位や認識は低いものがあります。介護の現場に関わる私たちが、常に自らをブラッシュアップし続けていくことが、介護業界全体の価値の底上げに繋がっていくのではないかと考えます。

今後は介護福祉経営士の皆さんと共に、介護・福祉に対する学びをより深めていけたらと思います。

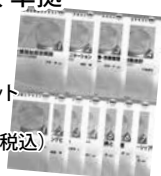
介護福祉経営士テキストのご案内

介護福祉経営士テキストシリーズは、「介護福祉経営士」の試験科目に対応しています。

介護福祉経営士テキストのご案内

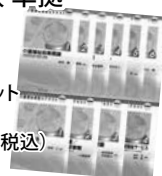
介護福祉経営士
1級試験 準拠

実践編
全11巻セット
特別価格：
26,190円(税込)



介護福祉経営士
2級試験 準拠

基礎編
全10巻セット
特別価格：
24,100円(税込)



いまなら

「介護福祉経営士2級資格認定試験対策
— 合格サポートブック —」がもらえる!!

「合格サポートブック」とは

- 「介護福祉経営士テキスト」基礎編(10巻)各巻の重要ポイントの解説を掲載
 - 予想問題を掲載
 - 第1回「介護福祉経営士2級」資格認定試験で実際に出題された問題を一部掲載。
- ※解説は(株)日本医療企画によるものです。

*株式会社日本医療企画へ直接お申し込みされた場合の価格となります。

テキストのお申し込み、お問い合わせは株式会社日本医療企画ホームページへ
▶<http://www.jmp.co.jp/>

より実践的な介護経営の知識について学ぶ

介護福祉経営士実践研修は、1級の筆記試験合格後に「介護福祉経営士2級」から「介護福祉経営士1級」への等級変更の要件となる研修である。例年、協会が認定した受講地・実施施設で行われ、講義や視察、演習などを行ってきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みWEBを利用した研修を実施している。今回は第2回の研修の様子をレポートする。

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は2020年度実践研修を実施した。研修は3回に分けて行われ、2020年12月13日に最終日を迎えた。

2020年11月22日(日)に行われた第2回では、前回に引き続き受講者を2グループに分け、7つの事例をベースにした資料を配付。グループごとに事例を比較しながらディスカッションを行い、実際にどの事例を課題として選ぶかなどの検討を行った。事例には社会福祉法人だけでなく、医療法人、株式会社なども含まれており、事業規模などもさまざま。受講者ごとにどの事例を選ぶべきかということに対する見解も異なっており、多様性に富んだ議論が交わされることとなった。

Aグループは株式会社の運営するグループホームに関する事例を課題として選択。経営課題として離職率が高い点、派遣の人材が労働力の比率上大きい点などが注目され、対策として人材確保・定着施策についての案が出たほか、経営を多角化しグループホーム以外の収入源の確保などを行うことなども提案された。

Bグループは複数の病院及び付随する介護施設を運営する医療法人の事例を選択し、経営課題として事例内の介護医療院への転換が行われている点に注目。転換を契機に看護師を中心とする人材が流出する懸念があることに加え、実際に稼働率が下がっている点などに

ついて指摘が挙がり、人材の確保及び労働力の生産性向上の必要性などが議論された。対策として法人グループ内の連携強化、ICT化などが議題として取り上げられたほか、経営基盤強化のためにグループホームやサービス付き高齢者向け住宅などの新規事業の立ち上げ案の提案なども行われた。

監修の宮島氏からは「目の前の問題に振り回されずに、将来を見据え、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源をいかに活用するかを意識してほしい。1年でできること、2年ないし3年(法制度にあわせて)でできること、5年でできることは何か。国がフォーカスしている2025年、2040年といったポイントを前提にしながらどこに照準を合わせていくのかを意識しながら進めていく事が肝要」とのコメントが寄せられた。

限られた時間、限られた情報の中での議論であったが、受講者の立場の違いなどによって多角的な視点からのアプローチが行われ、有意義なディスカッションの機会となった。

実践研修に対するお問い合わせは
協会ホームページより承っております。

<http://www.nkfk.jp/otoiawase.html>



2020年度実践研修の主な流れ

日 程(予定)	研 修 内 容
第1回 2020年10月11日(日)	共通課題として実在する社会福祉法人の経営資料を使用し、経営分析の手法とプロセスを学ぶ
第2回 2020年11月22日(日)	グループごとに分かれ、選択課題として用意された経営事例の課題・改善策を検討し、経営分析の手法とプロセスを学ぶ
第3回 2020年12月13日(日)	グループごとに経営分析結果と改善案を報告
事後課題の提出 2021年2月1日(日)	研修をとおして、学んだ手法を研修受講者自身が所属する組織に当てはめ、課題を抽出。具体的なアクションプランを策定する

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護ビジョン

今月の

第1特集

今こそ問う地域とのつながり 地域に開き、貢献するメリットとは何か？

新型コロナ禍で、人とのつながりが分断されていく。感染を防ごうとして外出を控え、人の集まる場所を避ける行動は、利用控えなどによる介護事業者の経営危機をもたらしている。このようななか、近年標榜されてきた「地域とつながる」「地域に開く」という潮流は、どのように変化しているのだろうか。また今後、どんな経営のメリットを生み出すのか、あらためて探りたい。

提言 ローカルコミュニティを越えテーマコミュニティをつくらう

鯨岡栄一郎 (日本社会福祉事業大学 専門職大学院特任教授 / 日本介護福祉経営人材教育協会 北信越支部長)

Case study 1 特別養護老人ホーム ミノワホーム

地域とつながることは事業所のブランド価値を上げる
馬場拓也 (社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事)

Case study 2 看護小規模多機能型居宅介護 むく

大家族的なつながりを施設の内外に張り巡らせる
佐伯美智子 (合同会社MUKU 代表)

Case study 3

オーダーメイドで働く場をつくり地域を変えていく
高齢者福祉総合施設 マザアス東久留米

2021年1月号

(2020年
12月20日発売)

詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円(税込)
- 定期購読料: 15,552円(税込)
- ※ 会員価格は12,444円(税込)

第2特集

先読み・報酬改定 介護現場の研修が変わる!?

特別企画

第2回 介護ビジョン版 介護給付費分科会 速報レポート

今月の
書籍紹介

Re:CARE

ポストコロナ時代の新たなケアのカタチ



日本の介護は

高齢者を幸せにしていますか？

介護職を輝かせていますか？

モヤモヤだらけの介護現場を解消すべく

3人の気鋭の実践者がケアの再定義に挑む！

《著者》

高瀬比左子 佐々木淳 加藤忠相

《定価・体裁等》

■ 定価: 2,200円(税込) ⇒ 会員価格: 1,760円(税込)

■ 体裁: B6判 / 196ページ

目次

第1章 ケアを再定義しよう！

高瀬比左子

[Re:CAREセッション1] リスクはコロナだけではない！

高瀬比左子 × 佐々木淳

第2章 居場所と役割をもとう！

佐々木淳

[Re:CAREセッション2] 新たな価値を創造するチャンス！

高瀬比左子 × 加藤忠相

第3章 プラットフォームビルダーになろう！

加藤忠相

第4章 介護の未来にかける希望と夢 むすびにかえて

高瀬比左子



ケアニュース

外国人人材と介護の今後を考える―

令和2年度外国人介護人材の教育及び 受入れ環境整備等に関する意見交換会 開催

内閣官房健康・医療戦略室は2020年12月2日(水)「令和2年度外国人介護人材の教育及び受入れ環境整備等に関する意見交換会」を開催した。

日本的介護の海外展開やアジアの介護人材の育成等に取り組むための官民連携プラットフォームとして2017年に発足した「国際・アジア健康構想協議会」の行事。協議会では「介護分野における円滑・効果的な人材還流の促進」にかかわる課題として技能実習生をはじめとする外国人人材の教育・受入れ環境の整備が挙げられており、本意見交換会は介護事業者や監理団体、自治体等による外国人人材の教育・受け入れに関する先行的な事例を協議会メンバーに共有することを目的としている。

意見交換会では介護福祉経営士2級である井口健一郎氏(社会福祉法人小田原福祉会特別養護老人ホーム潤生園施設長)より、日本的介護の輸出事例として韓国・台湾における取組および、法人内での外国人人材の受入れ事例の紹介が行われたほか、当協会関西支部長である坪茂典氏(社会医療法人愛仁会本部統括部長)より外国人人材受入れに関するCOVID-19の影響などについて報告が行われた。また、坪氏の報告の中では事例として介護福祉経営士1級の小平達夫氏(富山短期大学福祉学科准教授)による技能実習生のモチベーションに関する研究結果なども取り上げられた。

介護に関わる最新テクノロジーについて語り合う―

第4回 地域包括ケアのための 未来型テクノロジー研究会 開催

一般社団法人 ユニバーサルアクセシビリティ評価機構は2020年12月6日(日)地域包括ケアのための未来型テクノロジー研究会Future Technologies for Integrated Care Research Network (FTIC)を開催した(当協会後援)。同研究会は“現実に生活しているヒトの体の構造と機能”、“さまざまな職種で構成されている実際の地域社会の複雑さ”をキチンと分かった上で動くインテリジェントテクノロジーはないものかと望む研究者や実践家、自らの研究や事業を「本当の現実社会のなかで役立つものにしたい」と考えているICT/ロボット研究者開発者や起業家との出会い、Research Network づくりを目的として開催されている。司会進行は当協会理事でもある尾林和子氏(日本福祉大学教授)。

第4回となる今回は「新型コロナが問いかける社会福祉の将来」をテーマに開催され、新型コロナウイルスによる日本・欧州における影響への講演をはじめ、AI、ロボット、テクノロジーに関する最新の動向、コロナ禍のオンライン診療への影響等について情報発信が行われた。

今回は初のWebinar(オンライン)での開催となり、遠隔地からの参加者も多く、活発な質疑応答などが交わられる学びの場となった。

介護福祉経営士にとって最新のトレンドを知る良い機会となっているため、ぜひ情報収集に活かしていただきたい。

一般社団法人 ユニバーサルアクセシビリティ
評価機構HP ▶
<http://www.uaeo.or.jp/>



介護福祉経営士が知っておきたい！ イベント掲示板

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

株式会社日本医療企画
北海道支社

2021年度介護報酬改定を踏まえた withコロナ時代のマネジメント

2021年介護報酬改定にむけての重点施策や、改定内容をおさえながら、withコロナ時代に必要なマネジメントについての学びを深める。感染症や災害への対応力強化、介護人材の確保・介護現場のICT化、制度の安定性・持続可能性の確保など、あらゆる問題を解決に導くための研究会。

■日時：【第1回】2020年12月18日(金) 【第2回】2021年1月22日(金)
【第3回】2021年2月26日(金) 18:00~19:00(受付開始17:30~)
※3日とも同時開催となります。

■講師：神内秀之介氏
(ふくしのよろずや神内商店合同会社代表/
公益社団法人北海道社会福祉士会会長/
一般社団法人北海道介護支援専門員協会理事/介護福祉経営士1級)

■受講料：【第1回】：無料 【第2回・第3回】：各回2,000円(税込)

■定員：50名 ※定員に達し次第、締め切り

■開催方法：

- ①ZOOMによるライブ配信(後日アーカイブの配信予定はありません)
- ②日本医療企画 北海道支社セミナールーム(会場参加は先着10名様限定)
(北海道札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201)

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 北海道支社
担当：緑川
TEL:011-223-5125

株式会社日本医療企画

「介護福祉経営士2級」資格認定試験対策 WEBポイント整理講座

「介護福祉経営士2級」資格認定試験の出題範囲に準拠したテキストを用いて重点項目や押さえるべきポイントをわかりやすく解説。

介護福祉における法制度はもちろん、介護福祉サービスのしくみや介護福祉産業の動向や理解を深めるとともに、日常業務にも役立つ内容となっている。

■日時：2021年2月21日(日)9:30~17:30

■講師：馬場博氏(一般社団法人C.C.Net 専務理事・チーフアドバイザー)

■開催方法：

- ①WEB受講(ZOOM使用)
- ②会場受講S-GATE八丁堀(東京都中央区八丁堀三丁目20番5号)
※WEB・会場の希望受講方法をお選びいただけます。

■受講料：15,000円(税込)

※本講座は2日講座から1日講座に変更となりました。

※当日は、「介護福祉経営士基礎編10巻」を使用いたしますので、テキストにつきましては、各自お買い求めいただくか、当日販売も受け付けておりますので、お申し込みの際にどちらかお選びください。

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 介護経営事業部
担当：児島・干場
TEL:03-3553-2885

「介護福祉経営士」 資格認定試験

全国200会場で、受けたい日時に受験が可能 その場で合否が判定されます！

「介護福祉経営士」資格認定試験は、CBT方式で実施しています。

試験会場は全国約200会場から選ぶことができ、自分の予定に合った日程、時間に受験することができるようになりました。これにより、より多くの方々に受験機会が広がり、介護福祉業界のマネジメント人材として活躍していただけるよう、受験しやすく役に立つ教育システムとして進化しています。

受験方法や受験申込については、本会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/>)にてご確認ください。

CBT方式とは……

CBTとはComputer Based Testingの略称で、問題用紙やマークシートなどの紙を使わず、パソコンで受験する方式のテストです。特定の受験日に一斉実施する紙ベースの試験とは異なり、全国の会場にて随時(毎日[※])受験が可能となります。受験者は、会場と日程をWeb上で予約し、当日は会場のパソコンで受験します。

※年末年始を除く。試験会場によって異なります。【ご注意】新型コロナウイルス感染症の影響により、使用できる会場に制限が生じる場合があります。

INFORMATION

「2021年介護福祉経営士合格者のつどい」開催のご案内

「介護福祉経営士2級」資格認定試験に合格した方の交流を目的として「合格者のつどい」を開催します。先輩経営士とも交流できる機会です。ぜひご参加ください。

詳細が決定いたしましたら、協会ホームページ、媒体などにてご案内させていただきます。

■開催日時：2021年2月予定

■開催方法：オンライン開催